

社会に向けて、
より開いた学術のために

サイエンスコミュニケーター
長神 風二

本日の要点

- ・ 説明責任に頼り過ぎず、「オープン」を基本にサイエンスコミュニケーションを
- ・ 個人・機関だけでなく、学協会・分野・領域の活用を
- ・ 研究支援プロフェッショナルの人材循環に向けてシステムのな変革も含めて
- ・ 学術情報流通システムの本質的な改革も視野に

説明責任と サイエンスコミュニケーション

最近報道された政策から

- ・ 国費3000万円以上の研究者のアウトリーチ活動義務化
- ・ 最先端研究開発支援プログラムのシンポジウム開催経費計上

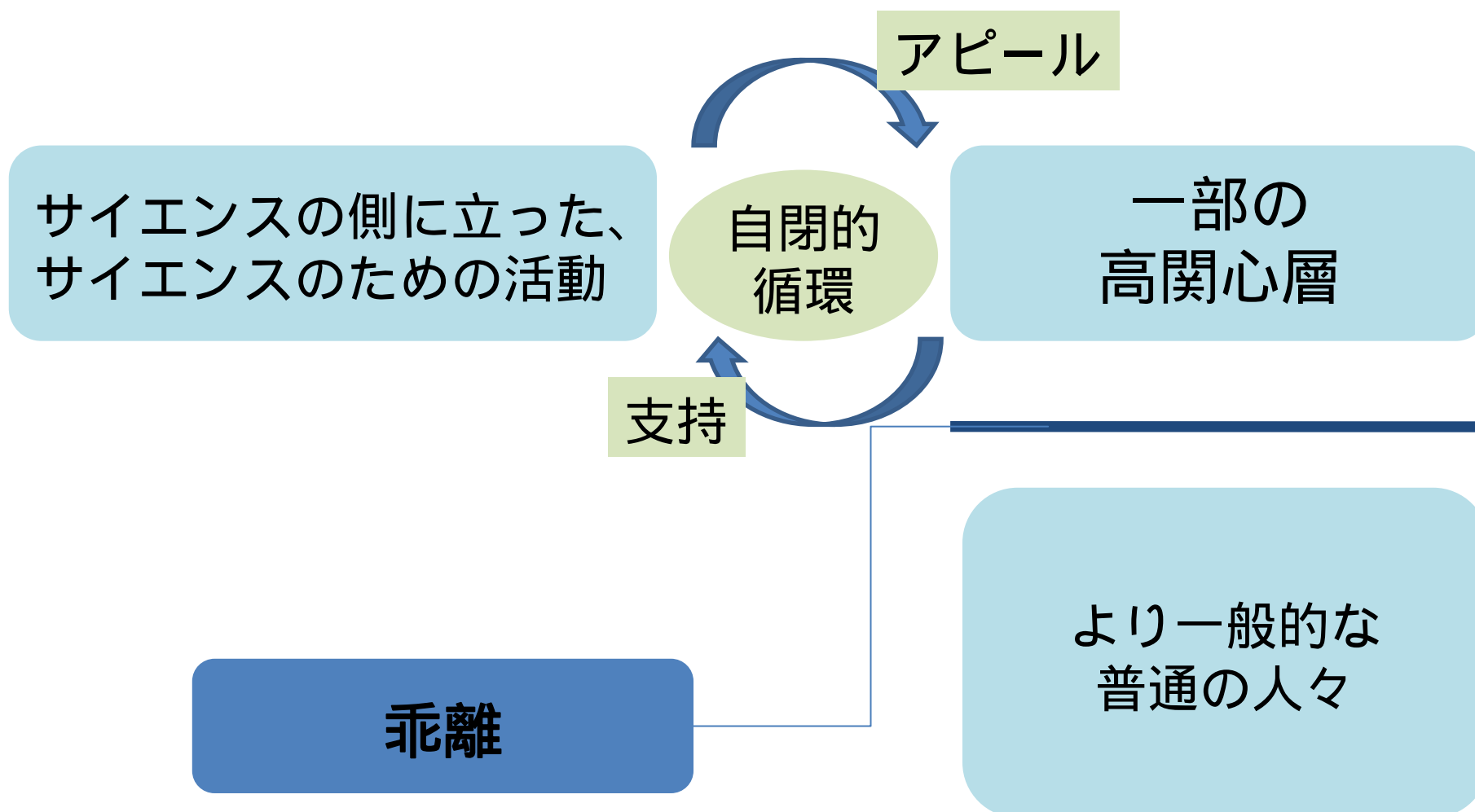
説明責任

コミュニケーションの
機会の不足

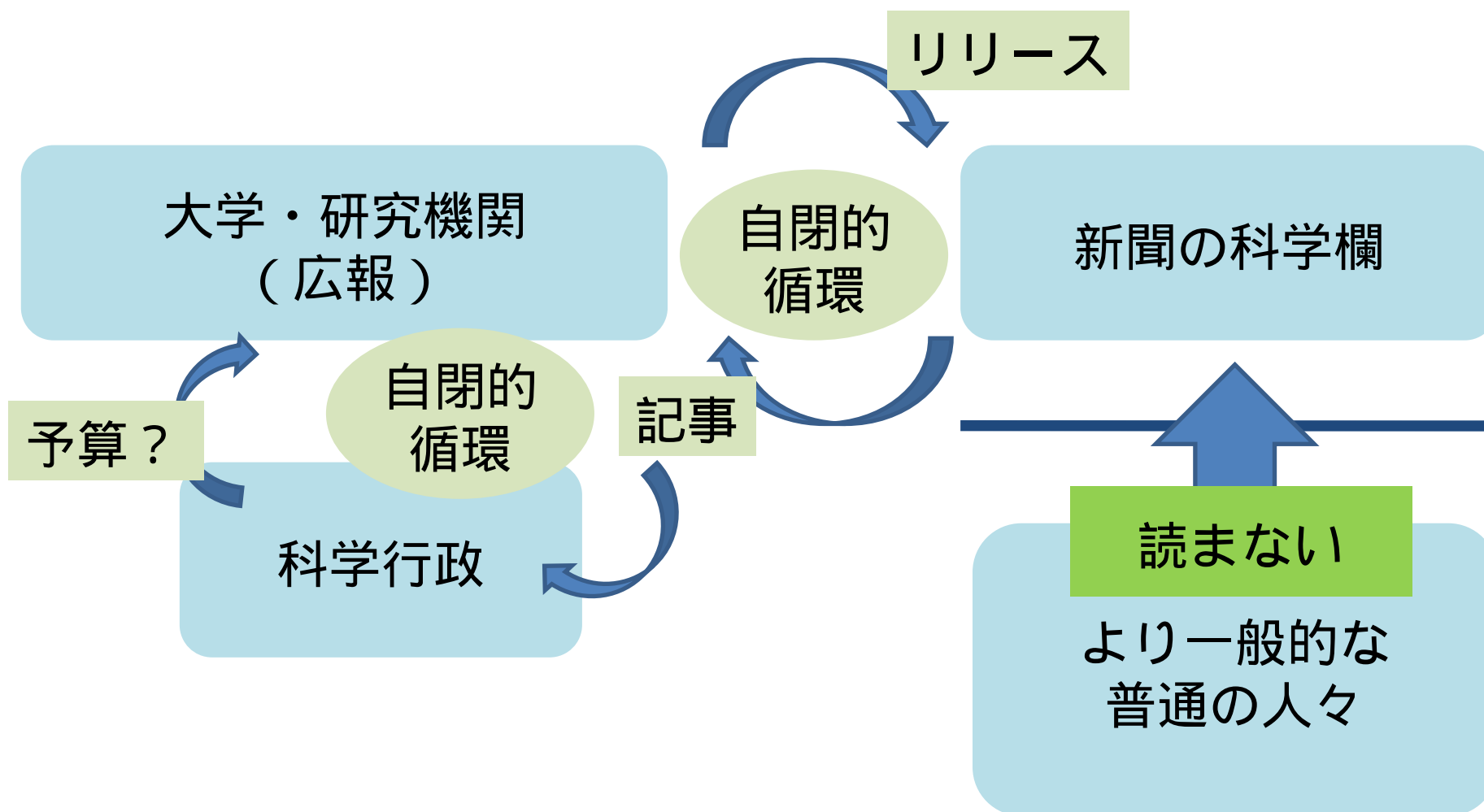
あくまで 科学研究を推進する側の論理

ニーズを考えず、「こなす」ことに陥りがち

自己満足的 サイエンスコミュニケーション



大学・研究機関広報にある似た構図



大学の広報強化がつながること？

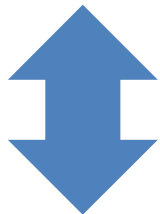
・ 悪夢

例えば、
東北大学



広報はつい大げさに

例) **のメカニズムの
~~一端~~の解明



激しい競争

東京大学、京都大
学、大阪大学、
東京工業大学・・・

大学はあまり傷つかず、
分野と学問全体に傷

学協会は？

学問の進展は脅威？

知らない
人が

知らない
ところで

勝手に進
めたこと
を

有無を言
わさず押
し付けら
れる

ここを少し
ソフトに

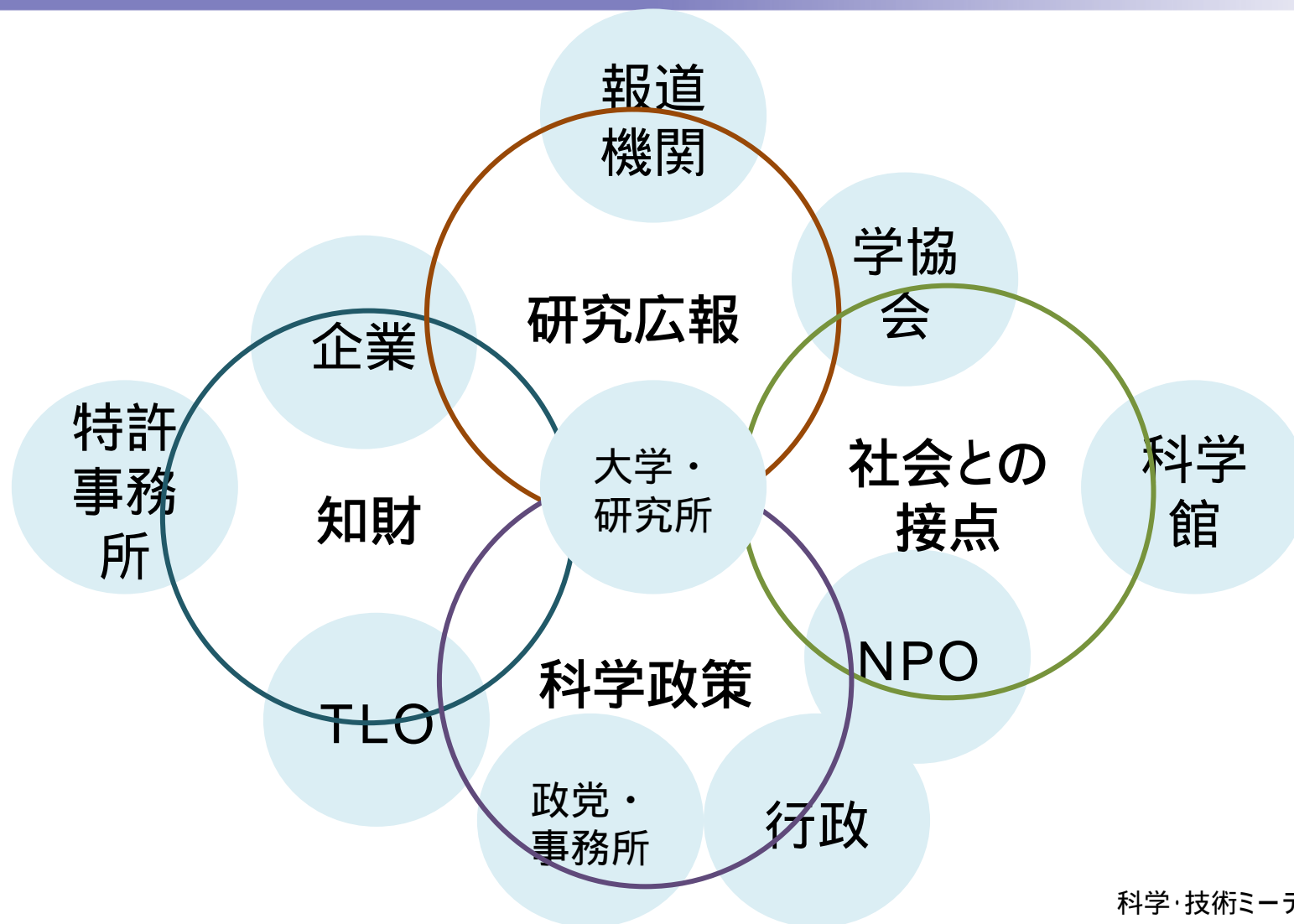
成果の還元をことさらに言
うよりも、
徹底したプロセスの公開を

サイエンス
コミュニケーション？

提案

- 研究者個人： 情報公開の徹底
機関リポジトリ登録などオープンアクセス化を義務に
- 研究プロセス： 申請書、審査・査読過程、
評価
少なくとも一定期間後の全過程の公開
- 成果の公開： 個別研究単位；
外からのアプローチを尊重
研究分野単位；
領域・学協会での取り組み強化

研究周辺分野のプロの育成 そのプロの循環の重要性



阻害要因は？

報道
機関

- 人材の流動性の不足
むしろ一定級以上はすべて期間雇用には？
- 硬直した制度
例えば大学： 外部のプロに対して
> 前提が、裁量労働制で謝金払い
結果的に、博士人材などの扱い悪化

TLO

系

政党・
事務所

行政

オープンイノベーションに向けて

- ・ 研究者個人： 情報公開の徹底

機関リポジトリ登録などオープンアクセス化を義務に

知的財産などが困
いこみに

申請書、審査・査読過程、
評価

少なくとも一定期間後の全過程の公開

- ・ 成果の公開： 個別研究単位；

先願主義・先発明主義を超えた
先公知主義の主張で世界を変えられないか

ご清聴、感謝します。

長神 風二
サイエンスコミュニケーター

現職
東北大学脳科学グローバルCOE